

協定校留学報告書

記入日	2022/06/25
学部・学科	人文社会科学部法律経済学科
学年	5年
(留学開始時の学年)	4年
留学先大学・国名	アルカラ大学・スペイン
留学開始・終了時期	2021年 9月 ~ 2022年 6月 (10ヵ月)

1. 留学前について

① 海外留学しようと思った理由は何ですか
以前短期の語学研修でスペインのアルカラへ行った際に、ホームステイをしたものの自分のスペイン語のレベルが低かったために全く理解ができず、せつかくとも親切にいただいたのにも関わらずまともにお礼を言うこともままならなかったため、ちゃんと会話をしたいと思ったからです。また、この時にスペイン人の価値観やスペイン文化についてもっと深く知りたと思いました。
② この協定校に決めた理由を教えてください。
上記の理由の通り、再びスペインのアルカラに行きたいという理由が強かったことと、茨城大学が協定を結んでいるスペインの大学がアルカラ大学だけだったからです。また、スペインの首都であるマドリッド中心部へのアクセスも良かったのもあります。
③ TOEFL の受験対策など、語学の準備はどのようにしましたか。
単語や文法など日本にいううちでできることはなるべくやっていたつもりでしたが、現地についてから特に語彙力の無さを痛感しました。また、座学しかやっていなかったために、実際のネイティブとの会話に最初はついていけなかったです。
④ 単位や教職、就職活動等に関して、留学前にしておいたほうが良いことがあれば教えてください。
どの学年で留学に行くのかにもよりますが、単位に関しては取れるうちでできるだけとっておいた方が後々楽になると思います。就職活動に関しては、三年時に留学へ行くならそれまでにインターンなどにチャレンジするなどして ES や面接の経験を積んでおいた方がよいと感じました。
⑤ どのような保険に加入しましたか。() に○をつけてください。
a. 留学先大学が指定した保険 (<input checked="" type="radio"/>) b. 個人の保険のみ (<input type="radio"/>) c. 大学指定の保険と個人保険の両方 (<input type="radio"/>)
⑥ 予防接種は必要でしたか。() に○をつけてください。
a. はい (<input checked="" type="radio"/>) 具体的に：最低でも二回のコロナワクチン接種が必要です。 b. いいえ (<input type="radio"/>)
⑦ 留学先への入国手続きについて、どのように準備しましたか。 (査証申請手続きや新型コロナウイルスにかかる水際対策対応の手続き等)
海外旅行保険や健康診断書、無犯罪証明書など取得するまでに時間がかかる書類もあるので早めに同時進行で

進めていかなければ間に合わなかったです。スペインはコロナに関して特段厳しい国ではないので事前に指定のアプリで簡単な情報を入力しておけば入国に時間がかかることはありませんでした。

2. 留学先での勉強について

① 留学先で履修した科目名、時間数、授業内容についてなるべく詳しく教えてください。

私は語学学校に通っていて、午前か午後かはクラス分けによって決まりますが、月曜日から木曜日は一日四時間スペイン語を学び、金曜日は文学や歴史、映画などスペイン文化について同じく四時間学んでいました。授業は前半と後半に分かれており、スペイン語の授業では前半の二時間で主に文法を学び、後半はコミュニケーションやディスカッションがメインでした。文化の授業も同様に分かれており、クラスのレベルとコースにもよりますが、例えば前半で文学、後半で歴史といったカリキュラムになっていました。

② 授業履修の際に、注意したほうがいいことがあれば、なるべく具体的に教えてください。

スペイン語のレベルをある程度高い水準、具体的には B2 以上にしておかないと学部での受講の許可が下りず、一年間ずっと下部組織の語学学校に所属することになってしまいます。スペインへ渡航してから伸ばすとしても、最低でも渡航前に B1 は必要だと思います。

③ 授業に関して、困ったこと、うまくいったこと、努力したことなど、教えてください。

授業が始まってすぐの頃は言いたいことをうまく表現できないことが多く、自信もなかったのであまり自発的に発言ができなかったり、授業で理解できなかったこともあまり質問することができませんでした。。それでも、時間がたって理解度が上がるにつれて、自信を持ち間違いを恥ずかしがらずにある程度発言できるようになっていた。間違っても笑う人はいないので恐れずに発言することができるようになりました。

[前期] 時間割

	月	火	水	木	金
1	スペイン語文法	スペイン語文法	スペイン語文法	スペイン語文法	スペイン文化
2	コミュニケーション	コミュニケーション	コミュニケーション	コミュニケーション	スペイン文化
3					
4					
5					
6					

[後期] 時間割

	月	火	水	木	金
1	スペイン語文法	スペイン語文法	スペイン語文法	スペイン語文法	
2	コミュニケーション	コミュニケーション	コミュニケーション	コミュニケーション	
3					
4					
5					
6					

3. 留学先での生活について

① 大学がある町やキャンパスの雰囲気はどうでしたか
滞在先のアルカラ・デ・エナレスという町は街自体が世界遺産に登録されている歴史あるきれいな街で、夜に外出しても危険を感じることはほとんどなく、スペインの中での治安はかなり良いと思いました。都市部のマドリードへのアクセスもかなり良く、多数運行されている電車やバスで一時間以内で行くことができます。アルカラ大学は学部ごとに複数のキャンパスを持っていて、それぞれが古風のヨーロッパ建築でありながら中はリノベーションされてきれいな教室となっています。放課後や休日に勉強するのに最適な大きな図書館もあり、勉強に集中する環境は整っていると思います。
② 留学中はどこに住んでいましたか。
a. 寮 (<input type="radio"/>) : 何人部屋でしたか (一人) b. アパート (<input type="radio"/>) : 何人部屋でしたか (十四人) c. ホームステイ (<input type="checkbox"/>) : 何人部屋でしたか (一人) d. その他 (<input type="checkbox"/>) 具体的に :
③ 住むところはいつ頃、どのように申し込みましたか？また、どのような選択肢がありましたか？
大学が手配してくださったエージェントを通して渡航 2 か月前には申し込みました。向こうの大学から提示される選択肢としては、大学から一番近くて少し高めめの寮、少し遠くてバスで 15 分ほどの距離にあるかなり安い寮、そしてホームステイがありました。最初はホームステイを希望していましたが、コロナの影響で選択することができず、少し高い方の寮に入ることになりました。
④ 住環境（建物の場所、お部屋の間取りや設備、ルームメイト等）はどうでしたか。
寮は街の中心部かつ学校から徒歩五分以内の場所にあり、立地はかなり良いです。部屋はシャワーとトイレ、収納や勉強机もあり一人で生活するには十分な広さと設備だと思います。週に一度清掃が入るため清潔感はかなり保たれていました。寮には食堂もあるため、食事に困ることもありません。寮には体育館があり、バスケットボールや卓球、ジムでの筋トレも楽しむことができ、中庭にはフットサルコートもあります。コモンスペースには大きなテレビやビリヤード台があり、友達とくつろぐには最適です。
⑤ 食事はどうしましたか。
a. 大学・寮のミールプラン (<input type="radio"/>) b. 主に外食 (<input type="checkbox"/>) c. 自炊と外食が半々程度 (<input type="radio"/>) d. その他 (<input type="checkbox"/>) 具体的に :
(補足説明) 寮で 4 か月過ごした後は、アパートでシェアハウスを始めました。寮費が高かったこと、現地の人たちと共同生活をして話す機会や文化理解を深めたかったことが理由でした。スペインでは学生が部屋を借りる時には基本的にシェアハウス以外の選択肢はありません。部屋を見つけるの難しくなく、アプリやウェブサイトで探すことができます。大家さんとの交渉には多少のスペイン語力が必要だと思いますが、英語を話せる人も少なくないので問題ないと思います。
⑥ 留学先で他の留学生や現地学生とどのように交流を深めましたか。
寮で暮らしていた時は食堂に行けばスペイン人の学生はもちろん、他の留学生と交流する機会が必ずありました。スベ

ン語はもちろん、中には英語しか話せない人もいたので英語を話す機会も多々ありました。体育館でバスケットをしたり、コモンルームで遊んでいると自然に彼らから話しかけてくるのでそこから人脈が広がることが多いです。また、定期的に寮が開催するパーティーで仲良くなる機会もありました。そして、マドリードでは月に一回程度インテルカンビオという日本人と日本に興味があるスペイン人との交流イベントが催されており、そこから仲良くなる人もいました。

⑦ 余暇や長期休暇はどのように過ごしましたか。

週末はスペイン国内各地を旅行したり、マドリードにショッピングに行ったり、友達と家で過ごしたりすることがほとんどでした。課題が大量に出ることもあって図書館や家に籠っていることもありました。長期休暇の際はヨーロッパの他の国々に旅行することもありました。なんとなく同じような風景だと思っていたヨーロッパもそれぞれ特色があり、いい経験になったと思います。

⑧ 健康管理や危機管理で注意したことについて、アドバイスがあれば具体的にお願いします。

スペインにおいてはコロナに関する規制はほとんど緩和されているので、屋外においてはマスクをしている人はほとんどいません。そのため、人の多い場所へ行く際には注意が必要だと感じました。また、現地でスリの被害にあった人もいたので出かける際は持ち物に注意を払うことも必要です。

⑨ 文化、習慣、宗教の違いなど、生活全般（衣食住）に関するアドバイスがあればお願いします。

スペインはカトリックの国なのでカトリック教徒が多いですが、それによって困ることは特になかったです。ただ、スペインの食習慣は少し変わっています。間食を取りがちで、そのため昼食や夕食の時間が日本と比べると遅いです。昼食は大体 14 時頃で夕食は 20 時以降に食べるのが普通です。特に夕食に関してはその時間にならないとレストランが開かないため、最初に来た頃は少し慣れるのに時間がかかりました。

4. 留学費用について(差支えない範囲でお答えください)

※各費用の下の空欄には補足事項をご記入ください。どんな些細な情報でも大歓迎です。

留学前

査証申請費	約 8 千円
申請時に大使館で支払います。	
渡航費(往路航空運賃)	約 5 万円
海外旅行保険代（出発前に日本で加入したもの）	約 10 万円
大学指定のものに加入しました。	
コロナ水際対策費用（陰性証明書、隔離費用、移動費等）	0 円
私が渡航した際は PCR も隔離も必要ありませんでした。	

留学中

授業料（有料コースを受講の場合）	約 50 万円
スペイン語のレベルが十分でない場合、このコースの受講が必須となります。	
授業料以外の学費（教材費や登録料）	0 円
授業料に含まれています。	

現地で加入した保険料	約 3 万 5 千円
向こうの大学から加入するように求められます。	
住居費（寮費）	約 50 万円
月に約 12 万円かかります。	
住居費（寮費以外の費用、光熱水料やインターネット）	約 30 万円
シェアハウスの家賃光熱費の合計です。月に 5 万円程かかりました。	
食費（自炊・外食の有無）	約 50 万円
平均で月に 5 万円程でした。外食はかなりの頻度でしていたと思います。	
通信費（SIM カードや現地でスマホ購入等）	約 3 万円
SIM カードを購入し、毎月チャージが必要で、3 千円程でした。	
交通費（通学に必要なバスや休日市内での公共交通機関）	約 3 万円
日本での SUICA のようなカードがあり、マドリド市内の電車、地下鉄、バスに乗り放題です。月に 3 千円のチャージが必要です。	
娯楽費（国内旅行に行ったり）	約 50 万円
この費用はかなり人によります。私は浪費していた方だと思います。	
その他生活費	円
渡航費(復路航空運賃)	約 10 万円
円安や燃油サーチャージの影響で高騰していました。	
留学先でのお金の管理方法（クレジットカード、デビットカード、現地での口座開設等）	
私はデビットカードとクレジットカードを併用していましたが、タッチ決済が主流となっていたのでそれに対応していたデビットカードを主に使っていました。ただ、どのカードを使うにしても現金を下ろすときに多額の手数料がかかって手間もかかります。また、ある程度カード払いをすると海外での不正利用だと勘違いされてカード会社に停止されることもありました。そのため、現地で口座を開設する方がよいと感じました。	

留学経費の負担について

留学のための奨学金等や助成金を利用した場合は以下もご記入ください	
奨学金名	阿見町留学生支援金（10 万円）
応募方法	留学照明の書類等

5. 今後の進路等について

① 卒業時期について教えてください。（わかる範囲で結構です）○をつけてください。	
a.	<input type="checkbox"/> 4 年で卒業予定
b.	<input checked="" type="checkbox"/> 卒業は延期する予定（延長予定期間：1 年 <input type="checkbox"/> ）
② 就職・進学のための活動について教えてください。（留学中にしたこと、留学後の予定など）	
今ではオンラインで対応している会社がほとんどなので、説明会や面接には日本にいるのと変わらず参加できます。しか	

し、最終面接は対面で実施していることが多いので帰国後に出向く必要があります。

6. 留学について

① 留学を終えての感想を教えてください。

まず、このような状況の中で無事に留学を終えることができ安心してます。コロナで先を見通すことが難しい中、送り出す決断をしてくださった国際交流課や様々な面で支えてくださった家族には頭が上がりません。様々な経験をしているなことを考える機会がありましたが、なによりも周りの支えのありがたさを強く感じる一年間だったと思います。

② 留学して、何が変わったと思いますか。

留学を経験して、語学力が飛躍的に上がったことは別に、自分の要望や意見を完璧に伝えることが難しい環境にいたことで、他人に話しかけるハードルが下がってより能動的に動けるようになったと感じます。初対面の人と話すことにも躊躇することがほとんどなくなりました。

③ 留学を考えている人へのメッセージをお願いします。

個人的には留学を通してスペインやヨーロッパの文化が学べるだけでなく、日本を外から俯瞰的に見て自分の国の良さに気づききっかけにもなると思います。そして、留学で培った経験は確実に自分を人間として成長させてくれると思うので、もし悩んでいる人がいればぜひ前向きに検討してもらいたいです。

7. 留学中の写真

留学中の様子が分かるような写真をいくつかこの下の空欄に貼り付けるか、もしくはメールでこの報告書を提出する際にメールに画像を添付してください。

(例) 寮、授業の教室、食堂、キャンパスの風景、街中の様子、などなど

※写真はグローバル教育センターのホームページに掲載させていただきたいので、他の人に見られても良い写真を選んでください。また写真に自分以外のお友達等と一緒に写っている場合は、その方に許可をとってから提出してください。

寮の部屋 (一人部屋)



寮 (中庭)



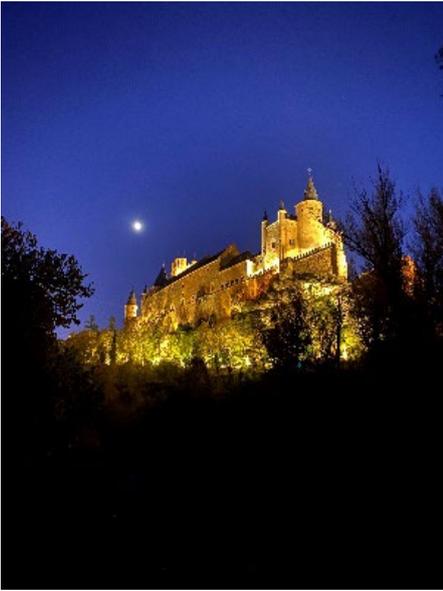
大学のメイン施設



クリスマスシーズンのマドリッド



白雪姫のモデルになった城



古都トレド



バレンシアの博物館



サグラダファミリア



セビージャ



コルドバ



グラナダ



サンセバスチャン

